

United Nations  
Educational, Scientific and  
Cultural Organization



西宮ユネスコ協会

# 西宮ユネスコ

2015.3 第142号

発行所：西宮ユネスコ協会（西宮市六湛寺町8-26 西宮市教育委員会内 TEL 0798(35)3892・FAX 0798(36)1208）  
発行人：古 胡 博 巴 編集人：小 林 民 子



## この木なんの木

会長 辰馬 章夫

中川志郎「生きものの節度」よりのお話です。木の葉を常食にしているクードウというかもしかが、ある1本の木にとどまって採食している時間は、常に2分以内でありました。まだおいしそうな葉が残っているのにどうしてでしょうか？

調べてみると、かもしかが食べ始めるまでは木の葉に含まれていなかったタンニンが多量に含まれていました。樹木たちは、かもしかによる採食が始まると直ちにタンニンをつくり出し、数分以内にすべての葉に送り込んでいました。

かもしかは、苦くなった葉の採食をあきらめ、次の木に移ることを余儀なくされていたのです。樹木はタンニンを出しながら、こう言っているに違いありません。「かもしかさん、私の葉を食べてもいいですけど、合図をしたらやめてね」と。2分のタイムラグが生きものたちの自然のバランスを形づくっているのです。何というすばらしい自然の知恵、共生の知恵でしょう。

こんな木もあります。幹は「よろず程のよ木」「じひぶか木」「しょうじ木」でできています。その幹から8本の枝が出ています。「あさお木」「いさぎよ木」

「しんぼうづよ木」「ゆだんな木」、そして「かせ木」「ついへのな木」「ようじょうよ木」「かないむつまじ木」と続きます。どんな木を想像されましたか？太い幹は、むちゃくちゃじゃなく丁度いいこと、思いやりの心、嘘をついたり、ごまかしたりしないことでできています。枝は、早寝早起きで元気よく、心や行いが立派で気持良く、またがまん強く逆境を克服しつつチャンスを待つ、よく注意して気をゆるめないこと、あとの4本は勤勉に働く、時間・空間・仲間という、いわゆるサンマを大切に無駄をなくす、そして健康に注意して家族仲良く助け合って暮らすこと。この木が実をつけたら、自分で食べる分、他の人にあげる分、手の届かないところの実の小鳥たちのために残しておいてあげましょう。この木は名づけて「金のなる木」といいます。いやいや「金」よりももっと大切な心に響く「鐘」のなる木にしたいですね。西宮ユネスコ協会会員の皆さん「やる木」に「根性」という根をしっかり張らせ、「なにくそ」という肥料を施してたくましく育て、平和の鐘・幸せの鐘を世界中に響かせましょう。

(辰馬本家酒造株取締役相談役)

## 第35回阪神間ユネスコ協会 連絡会合同事業in三田

第35回阪神間ユネスコ協会連絡会合同事業は、三田ユネスコ協会の担当で2014年11月26日（水）、三田市の「兵庫県立人と自然の博物館」で開催されました。西宮ユ協からは7名が参加しました。

講演会は「野生植物の現状と絶滅要因」と題して、当館の石田弘明主任研究員（兵庫県立大学教授）に講演していただきました。

地球の誕生は、約46億年前とされていますが、生命の誕生は約40億年前、植物が初めて地球に現れたのは約4億年前で、地球にオゾン層ができ紫外線がシャットアウトされてからということです。

現在、地球で名前がついている植物は約27万種とされています。しかし、今後50年間で約6万種の植物が絶滅すると予想されています。日本には約7,000種の植物が生息していますが、このうち絶滅危惧種は1,665種（24%）とされています。

植物絶滅の主な要因は、開発による生育地の破壊や熱源が化石物への変化により、薪や木炭などの需要が大きく減少したことで里山の減少といったことが挙げられています。その他地球温暖化や外来生物の影響なども挙げられていました。

その対策として、1992年の地球サミットで「生物多様性条約」が制定されましたが、米国は未締結だそうです。日本では生物多様性の地域戦略として各地で取り組んでいます。このうちでも兵庫県は先進性に富んでいるということでした。

植物の絶滅は、逆に地球の温暖化を促進しているとも考えられます。最近、頻発している洪水による痛ましい土砂災害など、地球温暖化による私たちの日常生活への影響は計り知れません。今回の講演は、今後の私たちの社会を考えるうえでも大変意義のあるものでした。

また、今回は「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの絵画展」が同時に行われ、児童画展を開催しているユネスコ協会から児童画を出展されましたが、西宮ユ協からも10点が出展されました。

## ●●● 研修見学会 ●●● 「天理参考館」を訪ねて

八木紀代子

11月17日（月）雨の予想と打って変わって暖かい秋日和に恵まれ、参加者15名西宮市役所前8時半集合、一路天理へ向かいました。

この度、天理教上ヶ原分教会会長のご好意で、自ら中型バスを運転してご案内頂きました。

1時間15分程で秋日を受けて黄金色に輝く銀杏並

木を通り抜けると、天理教独特の<sup>いらか</sup> 薨を頂いた建物群が立ち並ぶ天理市に到着。

天理教信仰の中心である大神殿を拝観、大きな回廊でつながれた東西南北の礼拝場、教祖殿、祖霊殿を見学させて頂きました。その後、天理市内をバスで巡り、11時半西宮詰め所でお弁当を頂き、12時過ぎには目的地「天理参考館」へ移動し約1時間職員の方の説明を受け、後は思い思いに自由に見学致しました。この参考館は天理教を海外に広めようとする人々が、諸外国の生活習慣や歴史などの知識を深めるため、1930年に創設され国内外から集められた収蔵品は、民族資料と考古資料に分かれており、その一部を「世界生活文化」「世界考古美術」というテーマで展示されていました。

自家用バスのお陰で短時間に凝縮された貴重な体験をさせて頂き、予定より早く、3時すぎには西宮に帰着、一同充実感に満たされた一日に心から感謝しつつ家路につきました。



## 2度目のバングラデシュ訪問

溝端 弘雄

昨年10月に再度バングラデシュを訪問する機会がありました。教育支援を続ける「共に生きる」代表の松澤様と通訳の南出様に同行して、ブラマプトラ河の中州にある小中学校を訪ねました。

前回訪問中に東北大震災が発生しましたが、あれからもう3年半、ダッカ市内では歩道橋が設けられたり、インフラが整備されつつありました。車で約10時間の距離も今回は飛行機に乗り約2時間で中州の対岸に着きました。

翌日現地NGOの案内でモーターボートに乗って中州の小学校、翌々日は別の中州の小学校と中学校を1校ずつ訪ねました。各学校とも粗末なトタン葺きの教室は一つで、窓明かりで目を輝かせて勉強する姿に感動します。家の手伝いもしながら登校前や下校後も勉強していると言う生徒が非常に頼もしく思え、「学んだ事は“誰にも奪われる事もなく失なう事もない宝”なので頑張ってください」と激励しました。

お二人とお別れして私はダッカに更に4泊。1泊2日で田舎にホームステイし、2日間は寺院や路地



裏を歩きました。貧しくても必死に“生きる”姿を見て幼い頃を思い出して恵まれ過ぎた日本の若者に見せたい気持ちに駆られます。

ダッカでは尼崎の介護施設で10年余り働いていた日本語ペラペラのヴィヤンさんの小さな宿に泊まりました。ここはバングラデシュを支援する日本人の溜り場となっており、滞在中に東京の支援団体の方とも知り合いになりました。

ヴィヤンさんに移動に必要なメモをベンガル語で書いて貰い、列車で植民地時代の古い町オールドダッカを2日間訪ねました。野党党首暗殺事件で金曜日にゼネストが予定され、3連休を利用して帰省する人で宿の近くの駅は人が一杯。危うく降りそこなう所でしたが、列車は一瞬の内に車内も屋根も超満員となり、まるでかつての復員列車の如き光景でした。我々がともすれば忘れがちな“生”への凄いパワーを感じました。機会があればまた行きたいと思っています。

## 初春文楽公演を鑑賞して

松澤 員子

西宮ユネスコ協会が毎年計画して下さる「初春文楽公演鑑賞会」を楽しみに参加させていただいています。文楽や歌舞伎といった日本の伝統芸能の鑑賞はお正月に限ったことではないのですが、なぜか私の胸の内にお正月気分がじんと湧き上がってくるのです。私はお正月早々に素晴らしいピアノコンサートに出かけましたが、それはお正月気分とは全く異質の感動なのです。文楽の力強いふと三味線の音と重く太い朗々とした語り、そして命吹き込まれた人形は、もはや人形ではなく、すっかりその物語に引き込まれてゆきます。

お正月の演目には華やかなものが選ばれますが、今年は私の大好きな「義経千本桜」で締めくくられました。愛する義経の後を追う静御前の道行きは、花盛りの舞台を背景に豪快な演奏で大満足しました。

幼い頃、お正月には祖父母の長唄を聴いていたからか、お正月には、やはり日本の古典芸能だと私は思っています。

## 世界遺産シリーズ

### リスボンの世界遺産を路面電車で巡る

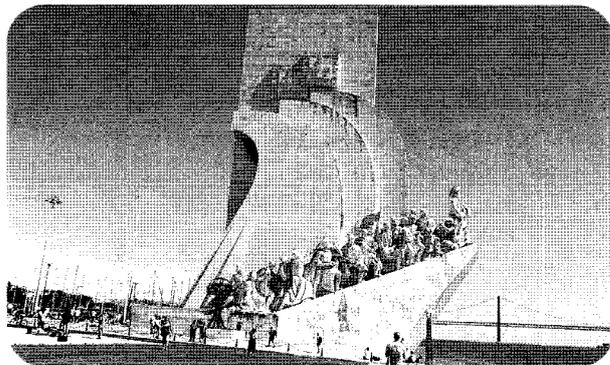
田岡 清志

リスボンは坂の街である。そして路面電車トラムが移動手段となっている。早速サンタ・アポロニャ駅からベレン地区にある二つの世界遺産へと路面電車で出かけた。

しばらく走ると海辺に出る。右手の海沿いに進むとベレン地区である。道路沿いに人だかりが出来ている。クリームタルトの名店「パステイス・デ・ベレン」だ。土産を買う目的があり場所確認のため店の傍で下車した。

海沿いの道をしばらく進むと「発見のモニュメント」が見える。ここは眺めるだけにして前方に見える「ベレンの塔」に向かう。

「ベレンの塔」は16世紀に世界一周を成し遂げたバスコ・ダ・ガマの偉業を記念して作られた要塞である。塔の中に入る。展示物に見るべきものはないが、テージョ川の船の出入りを監視する要塞だけあって展望はすこぶる良い。丘を眺めるとジェロニモス修道院の壮大な姿が見える。周辺は海辺の気持ちの良い散歩コースだ。



発見のモニュメント

ジェロニモス修道院に着いた。ポルトガルの誇るマヌエル様式の最高傑作と評される修道院の中でも見所は中庭を囲む回廊で、2階建てのアーチには海をテーマにした繊細な彫刻が施され荘厳な雰囲気の中に優美な姿を見せている。

この修道院には16世紀に日本から渡った「天正少年使節団」も訪れているという記録が残っている。少年たちはこの壮大な建物を前にしてどんな感慨を覚えたことだろうか。

見学後、トラムで最初に降り立った場所にある「パステイス・デ・ベレン」でエッグタルト「パステル・デ・ナタ」を買い求める。これは修道院直伝のポルトガルの伝統菓子でパイ生地の中にクリームをたっぷり詰め高温で焼き上げる。パイ皮はサクサク、甘さは控えめ。味の世界遺産と言える程に美味しい。目も舌も楽しめる世界遺産の旅となった。



## 事務局だより

☆2014年度近畿ブロック・ユネスコ活動研究会 in 神戸  
10月18日(土)・19日(日)の2日間、神戸市垂水区の舞子ビラ神戸で開催されました。基調講演は「ESDとユネスコ活動」をテーマに、米田伸次氏(日本ユネスコ協会連盟理事)が話されました。また、葺合高校(神戸市)、成良中学校(尼崎市)、三木北高校(三木市)がESD事例発表を行いました。西宮ユ協からは4名が参加しました。

### ☆第19回西宮国際交流デー

異文化への理解を深めることを目的とした第19回国際交流デーは2月8日(日)、フレンテ西宮4F・5Fで開催されました。にしのみや留学生日本語スピーチ大会やスペイン、中国などの民俗音楽パフォーマンス、お抹茶や着物の着付けなどの日本文化体験コーナーなどの催しがありました。西宮ユ協は今年もミニバザーで参加しました。

### — 今後の催しの予定 —

- 15. 4. 2 英語教室 第I期開講
- 5.16 2015年度通常総会
- 5.23 第36回日本ユネスコ協会連盟  
評議員会&情報交換会
- 6. 6 第71回日本ユネスコ運動全国大会 in  
~ 7 和歌山
- 6.20 第66回日本ユネスコ協会連盟総会
- 7. 民間ユネスコ運動の日  
~夏のキャンペーン~
- 8. “みんなく探検”
- 9. 3 英語教室 第II期開講
- 9. 第43回ユネスコチャリティーバザー
- 9. 末 会報143号発行

## お知らせ

### 2015年度総会5月16日(土)開催

西宮ユ協2015年度の総会は、5月16日(土)に、西宮市役所南側の西宮市職員会館3F大会議室で開催されます。

なお、総会後のミニコンサートは、男声合唱団コール・アルファの演奏会です。

### ●●● 新 入 会 員 ●●●

普通会員 川畑 春雄 〒663-8108 西宮市松山町

## 協会日誌

(2014年10月~  
2015年3月)

- 14.10.18 近畿ブロック・ユネスコ活動研究会 in  
~19 神戸 (舞子ビラ神戸)
- 11. 1 第34回日本ユネスコ協会連盟評議員会&  
情報交換会  
(東京・朝日生命大手町ビル)
- 11. 1 国際理解講座「I」  
「外国人からみた日本文化」  
講師 ウィリー・ベンジャミン氏  
(アメリカ出身)  
(市役所東館8F801・802号室)
- 11. 8 「にしのみやふるさとウォーク2014」  
(六湛寺公園~森具公園)
- 11.17 研修見学会「奈良県天理市・天理大学  
附属天理参考館他」
- 11.21 阪神間ユネスコ協会連絡会②  
(川西アステ市民プラザ)
- 11.26 第35回阪神間ユネスコ協会連絡会合同  
事業  
講演「野生植物の現状と絶滅要因」に  
ついて  
(三田・人と自然の博物館)
- 11.29 国際理解講座「II」  
「外国人からみた日本文化」  
講師 ギュル・ムスタファ氏  
(トルコ出身)  
(市役所東館8F801・802号室)
- 15. 1. 8 英語教室 第III期開講  
(プレラにしのみや4F)
- 1.17 第35回日本ユネスコ協会連盟評議員会、  
情報交換会、新年懇親会  
(東京・朝日生命大手町ビル)
- 1.19 文楽鑑賞会 (大阪・国立文楽劇場)
- 1.24 2015年新年理事会・懇親会  
(ノボテル甲子園“愛宕の間”)
- 2. 8 第19回西宮国際交流デー  
(フレンテ西宮4F・5F)
- 3.17 第30回ユネスコ世界児童画展  
(市民ギャラリー3F)
- 3.20 阪神間ユネスコ協会連絡会③  
(神戸・海外移住と文化の交流センター)
- 3.27 ウォーキングの会  
「甲山神呪寺 四国88か所めぐり」
- 3.31 会報142号発行

## 哀 悼

- 会 員 大川 勉 平成24年9月27日
  - 会 員 小林 勝 平成26年12月6日
- ご冥福をお祈り申し上げます。